

活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市

FUKUROI

第2次袋井市総合計画

地 域 編

2016—2025



はじめに

総合計画とは、市民と行政が目指すべきまちの将来像を共有し、その実現に向かって計画的に行政運営を行っていくための、基本的な考え方や目標を定めた袋井市の最上位の計画です。

まちの将来像を「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」と定め、教育や保健・医療、福祉、産業、防災など多岐にわたる分野について、計画的に実施していくこととしています。

そして、各地域が抱える様々な地域課題に対しては、行政だけでなく、地域住民との協働により解決していく必要があります。

「自分たちの地域は自分たちで創る」という考えのもと、市民一人ひとりが身近な地域のまちづくりについて考え、創意工夫により住民主導のまちづくりを目指していくための指針として総合計画地域編を策定しました。

本計画をもとに、地域住民の皆さんと行政と協働でまちづくりを進め、日本一健康文化都市を目指します。

目次

袋井南地区	2
高南・豊沢地区	4
袋井西地区	6
袋井北地区	8
袋井東地区	10
今井地区	12
三川地区	14
笠原地区	16
山名地区	18
浅羽北地区	20
浅羽西地区	22
浅羽東地区	24
浅羽南地区	26



地域編の読み方

- ・ 緑色枠の項目は、地域座談会において地域の皆さんが話し合われた内容を中心に記しています。
- ・ 青色枠の項目は、地域座談会での地域の皆さんのご意見を踏まえた上で、行政として定めたものを記しています。

地域の自慢

地域の皆さんが地域内外に誇れることを記しています。

スローガン

地域が目指すまちの姿を表現しています。

地区名と位置

公民館単位の地区名と地区の場所を記しています。

まちづくりの推進方針

各地域の特性や多様性を尊重した、総合的なまちづくりの方向性を記しています。



人口推移

平成 17 年から平成 27 年までの
地区の人口推移です。

※四捨五入の関係上、表示されている年齢区分割合の合計が100%にならない場合があります。

現状と課題

地域の現状を整理し、
今後対処すべき課題を
まとめています。

地域の皆さんの取組

地域の皆さんが主体となり、より良いまちを目指して進めていく取組です。

地域の主要事業

まちづくりの推進方針に基づき、今後 10 年間で進めていく取組を、ハード事業、ソフト事業の順で記しています。

事業……総合計画実施計画等に掲載されているもの

対策……ハード、ソフト事業等で総合的に取り組んでいくもの

構想……今後 10 年間のうちに、内容や規模、実現方法を検討するもの



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

住民のつながりと参加でつくる
「住んでよかった」が実感できるまち

まちづくりの推進方針

- JR袋井駅とJR愛野駅を活かしたまちづくり
- 田園や茶畑の風景を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・袋井駅周辺まちづくり事業
(歩いて楽しいまちなかプロジェクト)
- ・袋井駅南都市拠点土地区画整理事業
- ・袋井駅南地区治水対策事業
- ・田端東調整池修景施設整備事業
- ・(都) 田端宝野線整備事業
- ・県道袋井小笠線整備促進事業
- ・市道掛之上称宜弥線整備事業
- ・原野谷川左岸4号雨水幹線(高尾放水路)整備事業
- ・袋井南小学校区放課後児童クラブ整備事業
- ・通学路安全対策
- ・愛野公園運動施設等改修構想
- ・(仮称) 袋井南認定こども園整備構想

地域の皆さんの取組

駅やエコパなどの地域資源を活かして郷土愛を育むまちづくり

地域資源の活用やおもてなしイベントなど、地域を訪れる方々との交流を通じて地域の魅力を市内外に発信します。

潤いある住環境が充実した魅力あるまちづくり

緑地管理ボランティアを充実し、駅を中心に花と緑にあふれる潤いと安らぎのあるまちづくりに取り組みます。

活力にあふれ、若者が定住し活躍できるまちづくり

若者が主体となるイベントなどを通じて、住民同士のコミュニケーションづくりに取り組みます。

住民同士のつながりを強め、ともに進めるまちづくり

子どもから大人まで参加できる機会を活かして親睦を深めるとともに、様々な世代が集まり、交流できる居場所や仕組みをつくりまします。

子どもからお年寄りまで住む人が元気になり、安心して暮らし続けられるまちづくり

地域住民で具体的な防犯活動などの話し合いを進め、協力し、子どもや一人暮らしの高齢者への見守りボランティアを育て、防犯パトロールの活動につなげます。

高南・豊沢地区



構成自治会連合会：高南、豊沢



(法多山尊永寺万灯祭)

地域の自慢

【自然】

- ・自然に囲まれ、空気がきれいでホタルも飛んでいる

【地域コミュニティ】

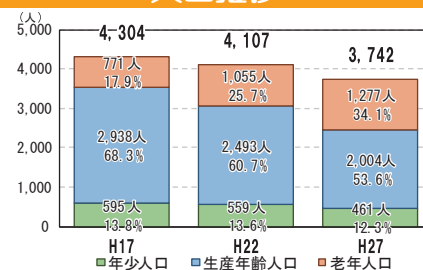
- ・公民館や公会堂を利用した交流活動が図られている
- ・高齢者が多く、知恵袋として地域で活躍している

【その他】

- ・幼稚園から大学まで文教施設がそろっている



人口推移



資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日時点）



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 子育て教育環境が充実する 住みよいまち

- ・地区内に幼稚園、小学校、看護専門学校、さらには大学があり、子育て教育環境が充実しています。
- ・秋の祭典では地区内が一同となって行動するなど、地域コミュニティが強く、地域行事への参加意識は高くなっています。
- ・JR袋井駅に近く、駅南口が供用開始され、利便性が高まり、住みよいまちとなっています。

課題 幅広い年代に対応したまち づくりの推進

- ・地区の一部には狭隘道路きょうあいもあり、安全な通学・通園に支障をきたしています。
- ・軟弱な地盤や急傾斜地のある地区では、地震対策や大雨等による治水・治山対策が求められています。
- ・宅地造成が進み、若い年代層が増えている地区もあることから、新たなコミュニティづくりが必要となっています。
- ・空き家が増え、高齢化の進行が著しい地区があることから、若者を呼び戻す取組が求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

大学等と連携し、若者の自由な発想や
住民のふれあい、支え合いでにぎわうまち

まちづくりの推進方針

- 総合治水対策の推進
- 大学との協働によるまちづくり

地域の主要事業

- ・ 豊沢工業団地整備事業（内陸フロンティア）
- ・ 袋井駅南地区治水対策事業
- ・ 柳原雨水ポンプ場整備事業
- ・ 秋田川改修事業
- ・ 急傾斜地崩壊対策事業
- ・ 高南小学校区放課後児童クラブ整備事業
- ・ 静岡理科大学との包括連携事業（地域学）
- ・ 遠州三山等魅力創設事業（法多山）
- ・ 伝統芸能保存継承事業（法多山田遊祭、万灯祭）
- ・ 空き家対策

地域の皆さんの取組

高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくり

高齢者が集う場を確保し、高齢者が集まる仕掛けや、地域で見守る仕組みづくりを構築します。

住民同士のふれあい、支え合いで絆を深めるまちづくり

各種行事に親子や家族みんなで参加し、地域のつながりをつくり、買い物や医療機関等への移動手段がない方を近所で助け合います。

空き家を活用した若者が住み続けられるまちづくり

空き家をシェアハウスにして若者に貸し出すことや、憩いの場（オープンフリースペース）を活用します。

人々が行き交う地域づくり

高南地区や豊沢地区のウォーキングルートマップの作成や、イベントを開催し、地域内外の人との交流を深める取組を進めます。

大学等と連携し地域社会教育の充実や法多山門前のにぎわいづくり

大学生など若い人たちが楽しめるイベントを開催したり、法多山門前を貸店舗として活用したりするなど、にぎわいづくりに取り組みます。

袋井西地区



構成自治会連合会：袋井、川井、袋井西、田原、方丈



(東海道どまん中茶屋)



地域の自慢

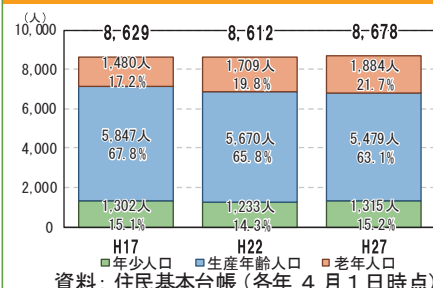
【自然】

- ・原野谷川など自然が豊富、散歩が楽しい環境
- ・桜トンネル（鉄開橋～諸井橋）

【地域コミュニティ】

- ・防災意識が高い
- ・健康への意識が高い
- ・幼稚園に後援会があり、地域で子育てを支援している

人口推移



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 利便性、自然の豊かさを兼ね備えるまち

- ・古くから東海道が通り、現在では日本の交通大動脈（新幹線、東海道本線、国道1号）も通る交通の要所となっています。
- ・公共施設（市役所、警察、郵便局、学校、駅）や商店等が地区内や近隣地区にあり、利便性が高くなっています。
- ・地区を包み込むように豊かな水田地帯が広がり、アクアロード（鉄開橋～諸井橋）には960mの桜トンネルがあるなど、自然環境に恵まれています。

課題 治水対策の継続、地域住民の交流の推進

- ・治水対策を継続させ、地域住民が安心して暮らせる環境づくりが求められています。
- ・地域住民の交流を深め、良好な地域コミュニティを維持することが求められています。
- ・まちの歴史や文化資源を保全、活用し、まちづくりを進めていくことが求められています。
- ・家屋の耐震化、家具の固定、非常用食料・飲料水の備蓄が不十分な家庭が多く、災害に備えるための注意喚起が求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

自然豊かな川と田園、歴史の薫りとともに
世代間が交流する、みんなが健康でにぎわいのあるまち

まちづくりの推進方針

- 東海道どまん中のまちづくり
- 袋井西公民館を活かした地域コミュニティづくり

地域の主要事業

- ・ 袋井西公民館建替事業
- ・ 住宅密集地防災対策事業
- ・ 消防団第1分団車庫建設事業
- ・ 市道柳原彦島線整備事業
- ・ 雨水貯留施設整備事業
(袋井西小学校・袋井中学校)
- ・ 松橋川改修事業
- ・ 袋井西小学校区放課後児童クラブ整備事業
- ・ 袋井宿開設四〇〇年記念事業
- ・ 川井西地区まちづくり(地区計画)推進事業
- ・ 伝統芸能保存継承事業(木原大念仏)

地域の皆さんの取組

原野谷川や宇刈川など自然環境を大切にしたいまちづくり

みんなで河川愛護活動に取り組むなど親しみのもてる河川環境をつくるとともに、みんなで河川愛護活動に取り組みます。

旧東海道など地域の歴史資源を活用したいまちづくり

地域住民による歴史語りや木原大念仏、祭典屋台の展示、おはたき餅のふるまいなど、来訪者へのおもてなしを行います。

災害に備えて安心して暮らせるまちづくり

災害の歴史を地域で伝承していくとともに、子どもたちも地域の一員として役割を担う取組を進めます。

若い世代や子どもたちが住みたいと思えるまちづくり

祭典や体育祭、納涼祭などの若い人が参画しやすい場を設け、みんなが参加できるような取組を進めます。

住民が交流できる「場」や助け合える仲間づくり

地域の交流イベントを実施するなど、人が集まるきっかけづくりとともに、地域住民が交流できる居場所づくりに取り組みます。

誰もが、いきいきと健康に暮らせるまちづくり

ラジオ体操にみんなが参加するなど、子どもから大人まで健康づくりに取り組みます。

袋井北地区



構成自治会連合会：袋井北、袋井北四町



(萬松山可睡齋)



地域の自慢

【自然】

・久野城址、可睡齋、宇刈川、コスモス、陣太鼓等、見所が多い

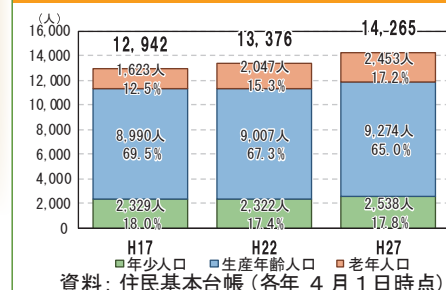
【地域コミュニティ】

・高齢者が地域で活躍している

【その他】

・スーパー、病院、銀行など生活インフラが揃い便利

人口推移



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 地域の誰もが住みやすいまち

- ・交通の利便性が高く、商業施設も充実しているなど生活環境に恵まれ、人口も多い地区となっています。
- ・地区内には、子育て・教育施設がある上、市民体育館や総合健康センターが立地するなど健康増進のための環境も充実しています。また、可睡齋や久野城址などの歴史的資源にも恵まれており、調和のとれた地域です。
- ・新しく来た人を受け入れる雰囲気があり、また「ともえサポーターズ」など、年配者の経験を活かして学校や子ども達を支える取組も行われており、世代を超えた“交流”と“助け合い”が根付きつつあります。

課題 住民一人ひとりが役割を意識するまちづくり

- ・若い世代が多数移り住んだこともあり活性化していますが、将来に目を向けると少子高齢化が進むことに伴う様々な課題が懸念されます。
- ・核家族や共働きの世帯が多いため、平日の日中に地域を支える人材が不足している傾向にあります。
- ・市民体育館の老朽化や大規模災害等における避難所の確保、さらには、児童が増えている袋井北小学校の教育環境の確保が求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

一人ひとりの力が活きる、ずっと住み続けたいまち

まちづくりの推進方針

- 若者から高齢者まで、誰もが活躍できるまちづくり
- 総合体育館や総合健康センターを活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・ 袋井市総合体育館整備事業
- ・ 袋井北小学校校舎増築事業
- ・ 消防団第4分団車庫建設事業
- ・ (都) 森町袋井インター通り線建設促進事業
- ・ (都) 上久能山科上線整備事業
- ・ (都) 村松山科線整備事業
- ・ 県道袋井春野線整備促進事業
- ・ 久野城址南遊水池整備事業
- ・ 遠州三山等魅力創設事業（可睡齋）
- ・ 袋井北小学校区放課後児童クラブ整備事業
- ・ 市指定史跡等文化財施設維持管理事業（久野城址）
- ・ インターチェンジ周辺まちづくり構想

地域の皆さんの取組

若者から高齢者まで、誰もが活躍できるまちづくり

一人ひとりが地域のために役割を持って活動します。
特技を持つ人など多様な人材を活かすため、人材リストをつくります。
高齢者と子どもの交流を促進し、活躍できる機会をつくります。
情報提供と誘い合いで参加者の輪を広げます。

地域コミュニティが充実し、住みやすく、住み続けたいまちづくり

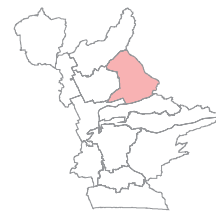
みんなで協力して、祭典や自治会活動を運営します。
誰とでも気兼ねなく話ができる関係づくりを進めます。
現在行っている取組を充実し、継続します。

生涯健康！一人ひとりが自分に合った健康づくり

地域が元気であり続けられるよう、自らの健康、家族の健康に気を配ります。
既設のウォーキングコースや公園、公会堂などを健康づくりの場として活用します。

袋井東地区

構成自治会連合会：袋井東一、袋井東二



(子ども刮目舎)

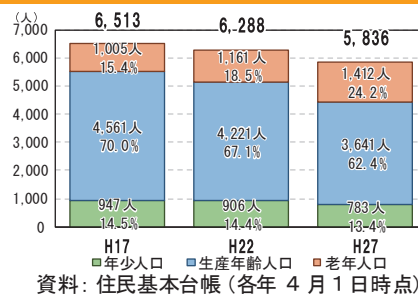


地域の自慢

【自然・歴史・文化・地域コミュニティ】

- ・ 東海道松並木 ・ 油山寺
- ・ 千鳥ヶ谷池 ・ かさんぼこ
- ・ 子ども刮目舎（袋井東小学校）
- ・ 防災意識が高い

人口推移



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 歴史と自然環境に恵まれた地区

- ・ 蛍の乱舞が見られるなど、豊かな自然や田園風景が残されています。
- ・ 油山寺、富士浅間宮、東海道の松並木などの歴史資源があり、観光資源としても活用されています。
- ・ 国道 1 号が東西を走り、交通の利便性が高い地区です。
- ・ 近所づき合いや地域性も強く、袋井東小学校が地域のシンボルとなり、まとまりがある地区です。

課題 住民がつながり、災害に備えるまちづくりの推進

- ・ 地区の一部では、水害が発生することから総合的な治水対策が求められています。
- ・ 地域のリーダーを育てるとともに、世代を超えたつながりのあるまちづくりが求められています。
- ・ 地区内に診療所、商店などが少ないことから、生活利便施設の誘致等が求められています。
- ・ 農地や里山の荒廃が見受けられることから、農地保全と荒廃農地の発生防止が求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

**東海道の歴史と地域資源を継承し
住民の強い絆に結ばれた防災意識の高いまち**

まちづくりの推進方針

- 総合治水対策の推進
- 地域の歴史資源を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・新消防庁舎及び（仮称）防災センター整備事業
- ・消防団第5分団車庫建設事業
- ・農業用ため池耐震対策事業
- ・市道太郎平新道国本線整備事業
- ・市道東同笠油山線整備事業
- ・雨水貯留施設整備事業（袋井東小学校）
- ・油山川改修事業
- ・急傾斜地崩壊対策事業
- ・東海道松並木保全事業
- ・袋井東小学校区放課後児童クラブ整備事業
- ・遠州三山等魅力創設事業（油山寺）
- ・村松地区公園整備構想
- ・（仮称）袋井東認定こども園整備構想

地域の皆さんの取組

子どもからお年寄りまで、思いやりに満ち、多様な世代の心がつながるまちづくり

あいさつ運動を地域に広げるとともに、子ども達を支えるボランティアグループの結成など、地域の人々と子ども達とのふれあいの場づくりを進めます。

東海道や油山寺など歴史資源や景観を活かした、にぎわいあふれるまちづくり

地域住民自らが地域の歴史を学ぶとともに、東海道や油山寺など歴史資源を活かしたまちづくりを市内外へPRし、地域に訪れる人々へのおもてなしを行います。

原野谷川の水辺空間などを活かした、人々が集えるまちづくり

地域の協力により、河川公園などの保全を行います。

生活者の視点に立った、安心して暮らし続けられる住みよいまちづくり

イベント開催などを通じた地域のつながりや近所の助け合いの意識を高め、様々な世代で支え合う仕組みづくりを進めます。

総合的な治水対策による災害に強いまちづくり

隣近所で助け合う防災組織を強化するとともに、有志のメンバーを組織化し、里山づくりの活動を進めます。

今井地区



構成自治会連合会：今井

(太田川の桜)



地域の自慢

【自然】

- ・豊かな田園風景
- ・里山と一体となった農家集落

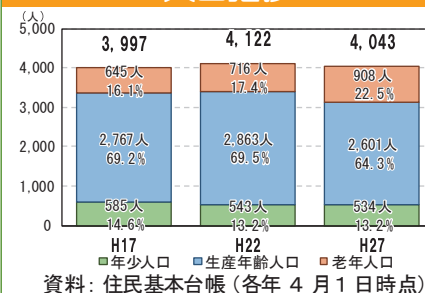
【地域の伝統】

- ・祭りやかさんぼこなどの地域の伝承行事がある

【地域コミュニティ】

- ・地域の結びつきが強く、高齢者に活気がある

人口推移



資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日時点）



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 豊かな自然や伝承行事が残るまち

- ・太田川に沿って広がる田園地帯や点在するメロン温室など、豊かな自然環境のもとに地域が形成されています。
- ・東名袋井 IC や袋井バイパスに程近く、企業の立地も進んでいます。
- ・祭典やかさんぼこなどの伝承行事が大切に継承されている上、年配者が幼稚園や小学校の子ども達を支える取組が始まっています。
- ・地域住民の結びつきが強く、住民同士の目配りが日頃の防犯対策などにも一役買っています。

課題 少子高齢化への備え

- ・子どものいる世帯の減少や高齢化の進行、空き家の増加などにより、地域に活気がなくなることが懸念されています。
- ・高齢化により、役員の引受け手がない自治会があるなど、地域の担い手不足も危惧されます。
- ・路線バス等公共交通が十分でないため、自家用車を持たない交通弱者への対応が求められます。
- ・太田川沿いの地域は地震による液状化が懸念されているため、地域や家庭が連携して防災対策を充実することが望まれています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

太田川とともに、世代を超えて助け合い、幸せつなぐまち

まちづくりの推進方針

- 誰もが暮らしやすく、暮らし続けられるまちづくり
- 地域資源を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・（都）森町袋井インター通り線建設促進事業
- ・ 今井小学校市道付け替え事業
- ・ 県道磐田山梨線整備促進事業
- ・ 地域人口減少対策
- ・ 雨水貯留施設整備事業（今井小学校）
- ・ 交通弱者対策
- ・ 市営住宅太田西団地改修事業
- ・ 空き家対策
- ・ 今井小学校改修事業

地域の皆さんの取組

太田川の恵みを活かしたまちづくり

河川愛護（美化）活動を継続して実施していきます。
太田川の堤防をウォーキングやマラソンのコースとして活用します。
川や公園を利用した催しを開催するなど、太田川に親しむ機会をつくれます。

誰もが暮らしやすく、暮らし続けられるまちづくり

空き家などを利用し、高齢者の憩いの場や様々な世代と交流できる場づくりに取り組みます。
住民同士の声掛けや助け合い活動を活発化します。

地域ぐるみで助け合う互助精神が豊かで安全なまちづくり

祭典や防災訓練、幼稚園や小学校の支援活動などを通じ、いろいろな世代の交流が活発になるよう努めます。
防災台帳や人材リストを作成し、助け合い活動を促進します。

三 川 地 区



構成自治会連合会：三川



(三川地区コミュニティ広場芝張り)



地域の自慢

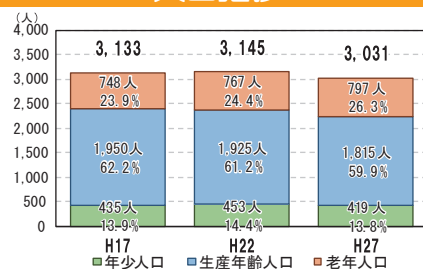
【自然】

- ・田園や里山など美しい環境
- ・農業が盛んで、農産物が豊富

【地域コミュニティ】

- ・地域のつながり、団結力が強い
- ・夏祭り、そば祭りなど公民館の行事が充実している
- ・寺院、神社が多い

人口推移



資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日時点）



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 地域活動が活発で、住民のつながりが強いまち

- ・市の最北部に位置し、地区の西側は丘陵地、東側は田園地帯と豊かな自然が広がり、敷地川を中心に集落が広がっています。
- ・地域協働運行バスや公民館活動など、人材を活かした助け合いの精神があります。
- ・東名高速道路や新東名高速道路へのアクセスが比較的よい地区となっています。
- ・夏祭りやそば祭り、ひまわり祭りなど、イベントが盛んで、地域のまとまりがあります。
- ・みつかわ夢の丘公園や三川地区コミュニティ広場などが整備され、良好な住環境が構築されています。

課題 地域資源を活かすまちづくり

- ・農業地帯ではありますが、農産物の直売所が少なく、地域の農資源を活かすためにも、農産物のブランド化が求められています。
- ・地域内に医療施設や商業施設が少ないことに加え、公共交通網が弱く、自動車を運転できない人には不便な地区となっています。
- ・豊富な地域資源をしっかりと掘り起こし、次世代に継承することが求められています。
- ・いかにして若者に訪れてもらうか、定住してもらうかを考え、地域の魅力を発信する仕組みづくりが求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

自然の恵みと人のつながりを活かし、
訪れたい、住んでみたい、住み続けたいまち

まちづくりの推進方針

- みつかわ夢の丘公園、コミュニティ広場を活かしたまちづくり
- 自然豊かな地域の資源を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・ みつかわ夢の丘公園整備事業
- ・ みつかわ夢の丘公園関連市道整備事業
- ・ 明治橋整備事業
- ・ 県道横川磐田線整備促進事業
- ・ 県道山梨敷地停車場線整備促進事業
- ・ 二級河川敷地川改修事業
- ・ 準用河川中沢川改修事業
- ・ 消防団第7分団車庫建設事業
- ・ 急傾斜地崩壊対策事業
- ・ 伝統芸能保存継承事業（源朝長公御祭礼）
- ・ 地域人口減少対策
- ・ 西山開発整備構想（内陸フロンティア・（仮称）川会西山線整備）

地域の皆さんの取組

三川の資源を磨き、地域内外へ情報を発信し、訪れたい地域づくり

ひまわり祭りや朝市など、イベントを定期的に開催し、たくさんの人に三川を訪れてもらえるよう資源を磨き、地域内外へ情報を発信し、訪れたい地域づくりに努めます。

高齢者がいきいきと地域で活躍できる環境づくり

高齢者に子どもや若い世代との交流の場を提供するなど、高齢者が社会参加やボランティア活動しやすい環境をつくれます。

地域で子育てをサポートし、若者や子育て世代が安心して生活できるまちづくり

子どもの居場所をつくり、地域ぐるみで子育て支援活動を行うとともに、学校と地域のつながりをより強いものにしていきます。

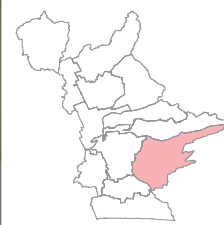
地域の自然を継承し、農産物等の自然の恵みを活かす環境づくり

耕作放棄地の活用や温室の貸し出し、農業体験イベントの開催などを通して、三川の農をPRします。

地域性を活かした人材を育成し、ネットワーク化する仕組みづくり

地域の伝統や文化の伝承を通じて、郷土愛を育み、人と人をつなげる仕組みづくりに努めます。

笠原地区



構成自治会連合会：笠原



(中屋敷橋から見る茶畑風景)

地域の自慢

【自然】

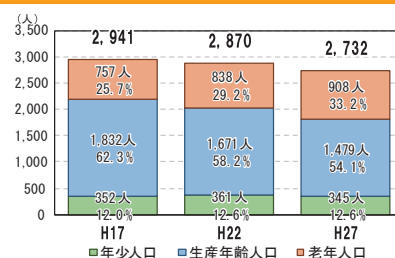
- ・安心して生活できる自然環境
- ・田園や茶畑が多く、野鳥も飛来

【地域コミュニティ】

- ・地域の人々が優しく穏やかで、団結力や責任感が強い
- ・子どもを大事にしており、子どもがしっかりあいさつできる
- ・他地域から転入してきた人も地域になじみやすい



人口推移



資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日時点）



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 地域住民の結びつきが強いまち

- ・地区の大部分が小笠山の丘陵地で、茶畑と田園の間に居住空間が広がり、地盤が強く、空気がよい地区となっています。
- ・地域住民の結びつきが強く、転入者を積極的、好意的に受け入れる雰囲気があるなど、良好な地域コミュニティが形成されています。
- ・公民館周辺には、保育所、幼稚園、小学校や児童館といった子育て・教育施設が配置され、連携が図られています。また、認定こども園の建設が進められています。

課題 多様な意見を反映したまちづくりの推進

- ・コンビニやスーパーがなく、歩いて移動する高齢者が日常生活に不便を感じています。
- ・認定こども園の建設などに伴い①若者の定住、②空き家対策、③元気なシニア世代の子育て・介護への参加など、多様な組織の意見を反映させたまちづくりを推進していくことがあげられます。
- ・幼児から高齢者が利用するデンマーク牧場など、地域にある資源を活用し、地域の活性化につなげていく仕組みづくりが求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

「みんなで声かけ 明るい笠原」が合言葉！
快適で住みたくなる、豊かな自然と調和したまちづくり

まちづくりの推進方針

- こども園を活かした、地域で子育てを支えるまちづくり
- 茶畑や田園など、自然豊かな地域の資源を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・（仮称）笠原認定こども園建設事業
- ・ 小笠山山麓開発推進事業（内陸フロンティア）
- ・ 消防団第8分団車庫建設事業
- ・ 県道磐田掛川線整備促進事業
- ・ 市道岡崎浅羽線（軽便鉄道線路跡地）整備事業
- ・ 弁財天川流域治水対策事業
- ・ 急傾斜地崩壊対策事業
- ・ 笠原小学校区放課後児童クラブ整備事業
- ・ 地域人口減少対策
- ・ 交通弱者対策
- ・ 空き家対策

地域の皆さんの取組

ふれあい秋まつりや公民館活動などを活かし、世代を超えて協力し合い活躍できるまちづくり

10代、20代の若い人の意見を取り入れたイベントを通じて世代間交流を図ります。
誰もが集え、様々な年代が交流できる場所をつくります。
特技を持つ人など、多様な人材を活かす人材バンクをつくります。

茶畑や田園など緑豊かな自然を活かした、いやし力あふれるまちづくり

地元農産物を使ったご当地料理の開発やイベントなど“笠原ブランド”を確立します。
茶畑、田園、里山など、子ども達が“ふるさと笠原”を実感できる場所をみんなで保全します。

こども園を活かした若者が住み続けたいまちづくり

若い人の声を活かしたこども園・小学校づくりなど、子育て環境の充実を図ります。

子育て・教育施設が連携し、未来の宝“子ども”を住民総参加で育むまちづくり

元気なシニア世代を中心とした“子育てクラブ”や“気配りネットワーク”の活動を充実させます。

山 名 地 区



構成自治会連合会：上山梨、下山梨、宇刈



(山名公民館)



地域の自慢

【自然】

- ・太田川や宇刈川など、自然が豊か、虫の生息地

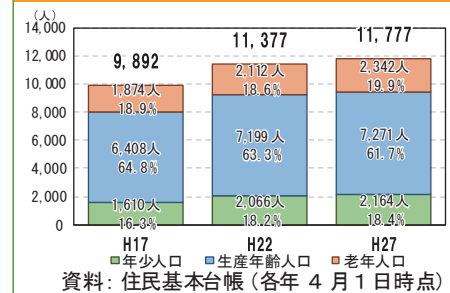
【地域コミュニティ】

- ・自治会での祭典、運動会、納涼会など地域活動が根付いている

【文化】

- ・歴史資源が多い

人口推移



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 幅広い世代が住みよいまち

- ・古くから商業のまちとして栄え、太田川や宇刈川、田園、里山など、豊かな自然にも恵まれています。
- ・地域の風習であるかさんぼこや祭典など、古くからの文化や伝統が大切に伝承されており、地域内の交流が盛んです。
- ・インフラ整備が進んでおり、公共施設、医療施設、商業施設が揃っていることから、幅広い世代の住民に生活しやすい環境が整っています。

課題 世代を超えたつながりの構築

- ・世代を超えたつながりを構築するため、公民館や公園など公共施設を活用した新たな交流活動が求められています。
- ・従来からある自治会と新設された自治会とで課題の共有がされていません。
- ・外国人が増えているなかで、言語の違いにより自治会のルールとマナーを伝えることができないなど、外国人との交流不足が課題となっています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

伝統的な文化や祭典で繋がり、
若者からお年寄り、外国人まで誰もが安心して暮らせるまち

まちづくりの推進方針

- 自然と街並みが調和した市北部の拠点にふさわしいまちづくり
- 太田川や宇刈川とともに暮らすまちづくり

地域の主要事業

- ・ 上山梨第三土地区画整理事業
- ・ 周南中学校校舎増築事業
- ・ 農業用ため池耐震対策事業
- ・ (都) 袋井駅森線整備事業
- ・ (都) 森町袋井インター通り線建設促進事業
- ・ (都) 山梨中央通り線整備事業
- ・ (都) 下山梨上町春岡線整備事業
- ・ (都) 川井山梨線整備事業
- ・ 県道掛川山梨線整備促進事業
- ・ 県道磐田山梨線整備促進事業
- ・ 急傾斜地崩壊対策事業
- ・ (仮称) 春岡多目的広場整備事業

地域の皆さんの取組

伝統的な文化や祭典を活かした住民がつながる仕組みづくり

子どもから高齢者まで、気軽に参加できるイベントの創設に取り組むことで、自治会やシニアクラブの活動を活発にしていきます。

若者や外国人にも温かく、定住できるまちづくり

ボランティアによる外国語教室や、乳幼児を持つ母親同士が交流できる場をつくり、日頃からコミュニケーションを図ることで、誰もが住みたいと思うまちをつくります。

地域力で災害を未然に防止するまちづくり

災害に対する訓練を定期的 to 実施し、自主防災隊組織を強化するとともに、日頃から声かけや地域の危険箇所を教え合い、お互いの顔が見える関係づくりに取り組みます。

地域で環境を守っていく、住みやすいまちづくり

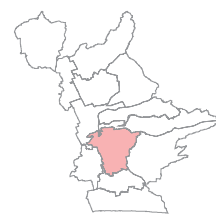
人が集まる場所に花を植えたり、宇刈川に錦鯉を放流したりするなど、自然を活かした環境づくりに取り組みます。

高齢者になっても住みやすいまちづくり

空き家を利用した居場所づくりや、健康づくり、生きがいのための「大人の学校」を開校するなど、高齢者が住みやすい地域づくりに取り組みます。

浅羽北地区

構成自治会連合会：浅羽北



(諸井里山のこいのぼり)



地域の自慢

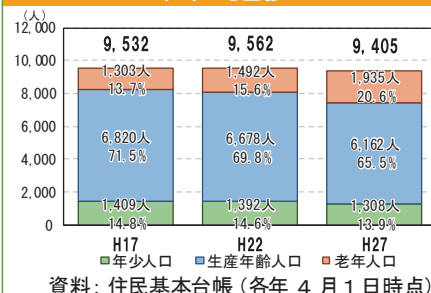
【自然】

・自然が豊かで、景観が美しい

【地域コミュニティ】

・住んでいる住民が親しみやすく、人情味がある
・地域づくり活動を行っている市民活動団体が多くある

人口推移



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 高台が多い景観が美しいまち

- ・北部の小笠山丘陵地や個々に広がる茶畑、南部の田園など、豊かな自然に恵まれており、里山保全活動も活発に行われています。
- ・浅羽地区の中心であり、公共施設も集積し、袋井市中心部へのアクセスも良く利便性が高い地区となっています。
- ・古くからの集落と新しい住宅地によって形成されています。
- ・高台で地盤が強く地震・津波に強いいため、新規住宅が増えています。

課題 安全・安心なまちづくり

- ・公共施設や道路などの老朽化が進んでおり、施設の更新が課題となっています。
- ・基幹道路は整備されているが、支線道路は狭く整備されていない箇所が多いため、お年寄りや子どもへの配慮が求められています。
- ・茶畑などの農地の荒廃が懸念され、対策が求められています。
- ・地元で暮らす人が地元で働ける環境を整備し、様々な世代が活躍できるようなまちづくりが求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

地域の行事を通じ、幅広い世代が交流し、
誰もが住みたいと感じる安全・安心なまち

まちづくりの推進方針

- 自然と調和した市南部の拠点となるまちづくり
- メロープラザや歴史文化館、郷土資料館を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・ 浅羽中学校大規模改修事業
- ・ (都) 諸井山の手線整備事業
- ・ 県道磐田掛川線整備促進事業
- ・ 雨水貯留施設整備事業（浅羽北小学校、浅羽中学校）（岡山山の神祭り）
- ・ 地域内狭隘道路整備事業
- ・ ふれあい夢市場開催事業
- ・ 郷土資料館活用事業
- ・ 伝統芸能保存継承事業

地域の皆さんの取組

地域独自の行事やイベントを活用した地域の皆が元気に交流できる仕組みづくり

自治会単位での盆踊り大会など、幼児から高齢者まで気軽に参加できるイベントを開催します。

地域の豊かな自然の保全と農業の活性化によるまちづくり

遊休農地を活用し、誰もが気軽に参加できる小さな農園を作ることで、コミュニティを活性化させます。

若い人たちにやさしく、住みたいと感じさせる地域づくり

子どもが安全に安心して遊べる場所を増やし、地域ぐるみで学校行事に協力します。

安全・安心な地域づくり

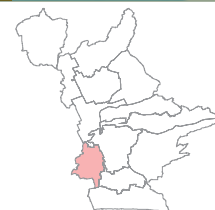
子どもの登下校時に地域の人が散歩するなど、地域で見守る取組を進めます。

世代間交流が活発で高齢でも安心して暮らせる仕組みづくり

学習ボランティアを通じて地域間・世代間交流を進めるとともに、高齢者が積極的に地域の担い手として活躍できる場づくりに取り組みます。

浅羽西地区

構成自治会連合会：浅羽西



（「公民館まつり」の様子）



地域の自慢

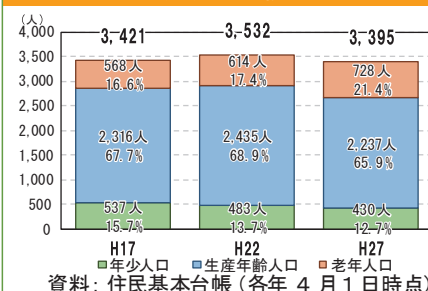
【自然】

- ・野鳥が訪れ、四季折々の色合いあふれる地区
- ・二瀬橋から眺める富士山が絶景

【地域コミュニティ】

- ・家庭的な雰囲気があり、地域で協力し助け合いができています
- ・伝統文化を大切にしている

人口推移



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 助け合いのある自然豊かなまち

- ・田園が広がり、水量豊富な太田川と原野谷川が流れるなど自然豊かな地区です。
- ・地域内で協力し助け合いながら暮らす風潮があり、家庭的な雰囲気となっています。
- ・伝統文化（祭典）など文化を大切にしており、住民同士の交流が多くあります。

課題 住民の交流の増加による地域の自然、安心を守る意識の向上

- ・自治会内単位でのコミュニティは充実している一方で、自治会同士のつながりが希薄となっています。
- ・田園保全、消防団の充実や水害対策などの防災対策、増加する高齢単身世帯への対応や交通弱者対策、若者の定住や地域活動への参加を促すなど地域の絆づくりの推進が必要です。
- ・近年市内で見受けられる不審者問題もあり、外で遊ぶ子どもが減少しています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

公民館を中心に多彩な交流が生まれ、
地域資源を活かした新しい文化、活動力を創造するまち

まちづくりの推進方針

- 田園風景を活かした緑が映えるまちづくり
- 公民館を核としたまちづくり

地域の主要事業

- ・ 県道磐田掛川線整備促進事業
- ・ 県道中野諸井線整備促進事業
- ・ 市道湊川井線整備事業
- ・ 浅羽西公民館改修事業
- ・ 多目的運動広場維持管理事業
- ・ 地域人口減少対策
- ・ 交通弱者対策
- ・ J A 浅羽西支店跡地活用構想

地域の皆さんの取組

公民館など地域の核となる施設を中心とした地域づくり

公民館を開放する日を設け、幅広い世代が気軽に自由に使える公民館とすることで、子どもなど様々な年代が集まり、交流できる場をつくります。

多様な世代・文化が集い、交流できるまちづくり

夏祭りやスポーツ大会など、幅広い世代がより気軽に参加できるイベントを開催し、地域がにぎやかになる仕掛けづくりに取り組みます。

みんなで子どもを育み、安全に住むことができるまちづくり

子どもが安全な生活を送ることが出来るように、ジョギングや犬の散歩など普段の生活習慣を子どもの通園・通学の時間帯に合わせることで、地域の見守りを強化していきます。

若い世代の意見を反映させる仕組みづくり

子育てが終わった世代からシニアクラブ入会前までの世代が加入できる組織を地域の中で推進していきます。

豊かな自然環境や田園風景を大切にしたい穏やかで暮らしやすい地域づくり

地域で環境保全活動を行うことで、豊かな自然環境をより理解してもらい、環境保護意識の向上に努めます。

浅羽東地区



構成自治会連合会：浅羽東



(地域協働運行バス「めだか号」)

地域の自慢

【自然】

- ・田園風景が広がる豊かな自然

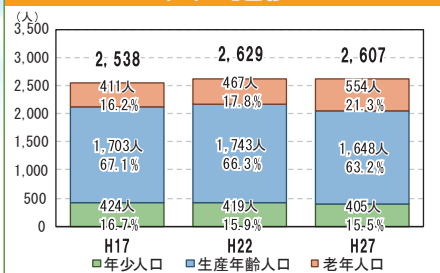
【歴史・文化】

- ・浅羽佐喜太郎の記念碑や稚児流 鎗馬など文化資源が豊富

【地域コミュニティ】

- ・公民館活動が盛んで、子どもも参加するイベントが多い

人口推移



資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日時点）



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 地域活動が活発な歴史あるまち

- ・梅山八幡神社を中心とした歴史ある集落が形成された、自然環境が豊かな田園地区です。
- ・地区内には商業施設や医療施設がなく、移動手段も少ないなど、地域の課題を解決するため、地域協働運行バス「めだか号」を運行しています。
- ・ホテルなど地域特性を活かしたまちづくりが進められています。
- ・古くからの集落と新しい住宅地が混在するものの、地域コミュニティ活動が活発に行われています。

課題 地域資源を活かした活動の充実

- ・歴史・文化資源や田園の自然を活かした活動を充実させていくことが求められています。
- ・地域のつながりが希薄になりつつあるなか、公民館活動などに多くの方々が参加し、世代を超えたつながりを持つことで、高齢者が住みやすく、子どもを育てやすい環境づくりが求められています。
- ・若者世帯の定住や増加する高齢者世帯に対する取組が求められています。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

恵まれた地域の歴史や資源を活かし、
世代や地域を超えた交流があるまち

まちづくりの推進方針

- 浅羽佐喜太郎など、郷土の偉人への誇りを育むまちづくり
- 田園風景を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・ 弁財天川流域治水対策事業
- ・ 地域内狭隘道路整備事業
- ・ 地域協働運行バス事業
- ・ 多目的運動広場維持管理事業
- ・ 浅羽佐喜太郎顕彰事業
- ・ 伝統芸能保存継承事業（稚児流鎗馬）
- ・ 地域人口減少対策
- ・ 交通弱者対策

地域の皆さんの取組

自然や農地を有効活用した共生・共存のまちづくり

耕作放棄地などを活用し、田植えや稲刈り、料理教室等のイベントを開催し、世代を超えた交流ができる機会をつくります。

地域の歴史や文化に誇りをもてるまちづくり

地域の文化を掘り起こし、情報を発信したり、子ども達に歴史や昔の遊びを教えたりすることで、世代を超えたつながりを持ち、地域に誇りを持てるようなまちづくりに取り組みます。

世代を超えて共感できる場づくりによる地域コミュニティの充実

地域の行事やイベントに積極的に参加することで地域コミュニティの充実を図るとともに、見守りネットワークをつくるなど、地域で助け合う体制をつくります。

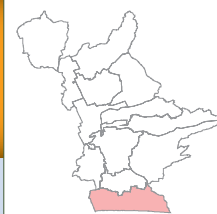
地域の誰もが気軽に集まれる様々な機能を備えた居場所づくり

公民館や公会堂などを活用し、「おらん家」のような地域のみんなが気軽に集まれる空間をつくります。

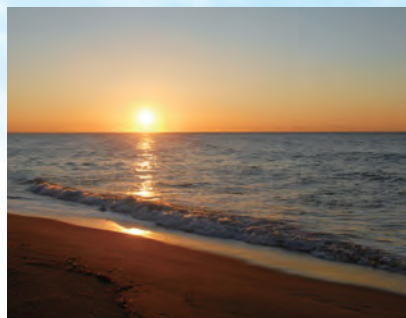
地域を担う若者の参加による持続可能な地域づくり

運動会や祭典をより魅力あるものにし、若者が地域活動に気軽に参加できるよう取り組みます。

浅羽南地区



構成自治会連合会：浅羽南



(「浅羽海岸」の初日の出)

地域の自慢

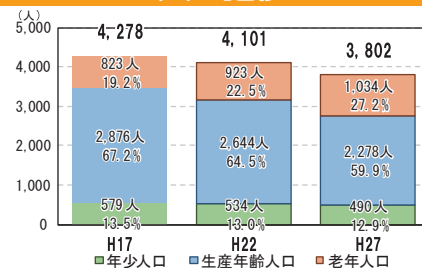
【自然】

- ・平坦な地形で四季を感じやすい
- ・日照時間が長い

【観光】

- ・白砂青松な海岸がある
- ・特産品等の観光資源

人口推移



資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日時点）



私たちが住んでいるのはこんなまち

まちの現状と課題

現状 豊かな自然と観光資源に恵まれたまち

- ・太平洋に面し、白砂青松の美しい浅羽海岸が広がる、豊かな自然のある地区です。
- ・国道 150 号があり、東西の移動に利用されています。
- ・地元特産品の焼酎「幸浦」やいちご、すいかなどの観光資源があります。

課題 自然の保全と観光資源の活用による元気あるまちづくり

- ・昔からの地域コミュニティが維持されていますが、白砂青松の保全や再生、沿岸部の防潮堤や命山整備といった津波対策などが課題となっています。
- ・東日本大震災以後、人口の流出、地価の下落、一部地域でアパートの空部屋や空き店舗の増加が懸念されており、官民あけて活気を取り戻す取組を進めることが喫緊の課題です。



目指すのはこんなまちづくり

スローガン

**あふれる自然とみなぎる笑顔
みんなで地域を盛り上げ助け合うまち 幸浦**

まちづくりの推進方針

- 地震災害に強いまちづくり
- 浅羽海岸など、地域の自然を活かしたまちづくり

地域の主要事業

- ・ 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業
（(仮称)袋井幸浦の丘整備事業・内陸フロンティア）
- ・ 津波避難施設整備事業（命山）
- ・ 浅羽球技場周辺整備事業
（浅羽 B & G 海洋センター跡地整備）
- ・ 海岸環境保全事業
- ・ 避難路、避難地ブロック塀等改修事業
- ・ 市道東同笠油山線（南部工区）整備事業
- ・ 市道湊中新田線整備事業
- ・ サンドバイパス促進事業
- ・ 国道 150 号バイパス整備促進事業
- ・ 浅羽南小学校区放課後児童クラブ整備事業
- ・ 地域人口減少対策

地域の皆さんの取組

白砂青松な海岸等あふれる自然を活かした元気あるまちづくり

地引き網の復活と、自然を活かした公園づくりに取り組みます。

子どもからお年寄りまで皆が笑顔で生き生きとなるまちづくり

公会堂で学童保育を実施し、地域の居場所づくりとふれあう場づくりに取り組みます。

災害に強いまちづくり

住宅の耐震化やブロック塀のフェンスを生け垣への転換を進めるとともに、住民同士のつながりをさらに深め、地域防災力の強化に取り組みます。

地域を盛り上げる人づくり・地域づくり

公民館を拠点にして、地域を盛り上げる仕組みと人材の育成を行います。

まちの将来像

活力と創造で 未来を先取る

日本一健康文化都市

地域別スローガン

袋井南地区	住民のつながりと参加でつくる 「住んでよかった」が実感できるまち
高南・豊沢地区	大学等と連携し、若者の自由な発想や 住民のふれあい、支え合いでにぎわうまち
袋井西地区	自然豊かな川と田園、歴史の薫りとともに 世代間が交流する、みんなが健康でにぎわいのあるまち
袋井北地区	一人ひとりの力が活きる、ずっと住み続けたいまち
袋井東地区	東海道の歴史と地域資源を継承し 住民の強い絆に結ばれた防災意識の高いまち
今井地区	太田川とともに、世代を超えて助け合い、 幸せつなぐまち
三川地区	自然の恵みと人のつながりを活かし、 訪れたい、住んでみたい、住み続けたいまち
笠原地区	「みんなで声かけ 明るい笠原」が合言葉！ 快適で住みたく、豊かな自然と調和したまちづくり
山名地区	伝統的な文化や祭典で繋がり、 若者からお年寄り、外国人まで誰もが安心して暮らせるまち
浅羽北地区	地域の行事を通じ、幅広い世代が交流し、 誰もが住みたいと感じる安全・安心なまち
浅羽西地区	公民館を中心に多彩な交流が生まれ、 地域資源を活かした新しい文化、活動力を創造するまち
浅羽東地区	恵まれた地域の歴史や資源を活かし、 世代や地域を超えた交流があるまち
浅羽南地区	あふれる自然とみなぎる笑顔 みんなで地域を盛り上げ助け合うまち 幸浦

FUKUROI



企画・制作

袋井市

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1

TEL 0538-44-3105 FAX 0538-43-2131

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>